



第62号

木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和6年2月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会

☎493-0006 木曾川町内割田一の通り27

(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005

【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp

【ホームページ】<https://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪ HPIはこちらからどうぞ



文化祭を開催しました（公民館主催）

秋晴れに恵まれた10月28日（土）・29日（日）に、木曾川町文化祭を木曾川公民館で開催しました。13グループと個人5名の出品があり、大勢の方が華やかな展示会場を見学されられました。

会場では大変可愛らしい幼稚園児たちの作品や、あでやかな生け花、素晴らしい絵画、クレパス画、心のこもった手作り作品、毛筆和装帯結び、木曾川連区の活動記録・ハザードマップなどの作品が多く展示されました。又、茶席も格調高く設けられ、木曾川中の生徒さん達がお手伝いしていました。たくさんの方々が美しい和菓子やお抹茶を味わっておられました。

来年も是非、大勢の皆様にお越しただいて楽しんでいただけますように、更なる作品作りに励みたいと思っています。



芸能祭を開催しました（公民館主催）

11月5日（日）秋晴れの中、木曾川町芸能祭を一宮市尾西信金ホールで10時から3時半まで開催しました。出演団体は18、出演者は203名にのぼり、各種コーラスを始め、詩吟、大正琴、様々な体操やダンス、民謡、箏や三味線・尺八、太鼓、日本舞踊など様々なジャンルの演目に、幼稚園児から高齢者の老若男女の大勢が出演されました。

また客席には午前・午後合わせて500名もの方が、熱心に観覧そして拍手をしていただき、盛大で活気に満ちた芸能祭になりました。今年は初めて、公民館推進委員や有志の方に芸能祭を始め盆踊り、文化祭の運営にご協力いただき有難うございました。

来年もさらに魅力あふれる元気一杯の芸能祭を開催したいと思います。皆様方のご協力、ご参加をお願いいたします。



広報部会より

広報部会では、「地域の問題解決」を皆さんと一緒に話し合っ
て実現する「参加型の地域づくり」を試みていきます。

今回の「ご意見箱」のテーマは

「地域づくり協議会だより・ホームページについて」です。

どんな内容を載せて欲しいかなど、アイデア・ご意見をお待ち
しております。

テーマ

「地域づくり協議会だより・ホーム
ページについて」

QRコードを読み取り

回答してね。

(回答期限 3/20)



敬老会について（アンケート結果）

① 調査目的

敬老会事業は、永年社会の発展に貢献してこられた高齢者の方を敬愛し長寿を祝福することを目的として、木曾川体育館で祝賀会とアトラクションを開催し、お祝いの配布をしてきました。

令和2年よりは、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、祝賀会などの開催を自粛し郵送によるお祝いの配布をもって長寿のお祝いとしてきました。

このような状況の中、敬老会の開催方法や今後の在り方について検討するに際し、皆様のご意見を伺いして敬老会の開催方式検討の基礎資料とするためアンケート調査を実施しました。

② 調査対象者（回答者185名）

高齢者 : 主に77歳以上の敬老会対象者

開催関係者 : 町内会、民生委員、学校など開催に係わる団体の代表者

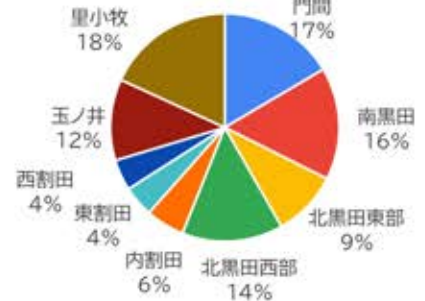
性別



年齢別回答数



地区別回答数



③ 敬老会の開催について

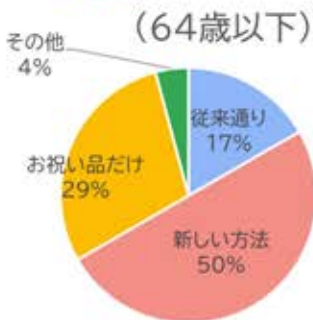
全体



設問

| |
|----------------------|
| 従来通りの方法で開催した方がよい |
| 新しい敬老会の開催方法を検討した方がよい |
| 式典等なしで、お祝い品の送付だけでよい |
| その他 |

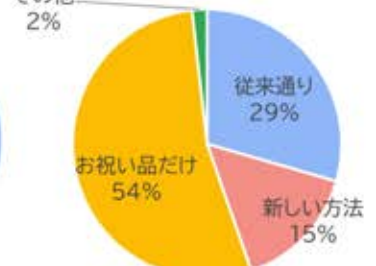
年齢別



(65～76歳)



(77歳以上)



小学校区別

黒田小学校区



西小学校区



東小学校区



敬老会の開催は、「お祝いの品の送付だけでよい」が47%が一番多いが、「従来通りの方法で開催」と「敬老会の方法を検討した方がよい」を合わせると51%になる。

小学校区別では、東小は従来通りの開催が多く、西小はお祝いの送付が多い。黒田小は中間となっている。

@ 敬老会の開催方法・内容について（開催した場合）

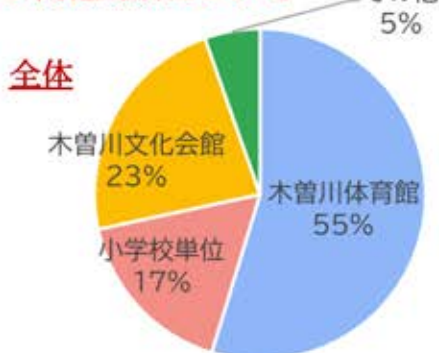
0% 20% 40% 60%

| | | | |
|---------------------|-----------------------------|-------|-----|
| 開催方法について (複数回答) | 祝賀式、アトラクション共、今まで通りがよい | 全体 | 43% |
| | | 77歳以上 | 48% |
| | 内容(アトラクションなど)を変えた方がよい | 全体 | 31% |
| | 77歳以上 | 27% | |
| | 開催場所を変えた方がよい | 全体 | 19% |
| | | 77歳以上 | 18% |
| 内容の変更について (複数回答) | 祝賀式を簡素化して欲しい | 全体 | 42% |
| | | 77歳以上 | 43% |
| | アトラクションは芸能人をやめて、事業費を削減して欲しい | 全体 | 23% |
| | 77歳以上 | 21% | |
| | お祝いの品の配布は出席者のみでよい | 全体 | 26% |
| | | 77歳以上 | 29% |

「開催方法について」は、一番多い意見は「祝賀式、アトラクション共今まで通りがよい」であり、77歳以上の敬老会対象者も一番多い。

「内容の変更について」は、「祝賀式の簡素化」を望む人が全体も敬老会対象者ともに多く、「アトラクションは芸能人をやめて、事業費を削減して欲しい」という意見は全体も敬老会対象者ともに多くないという結果となった。

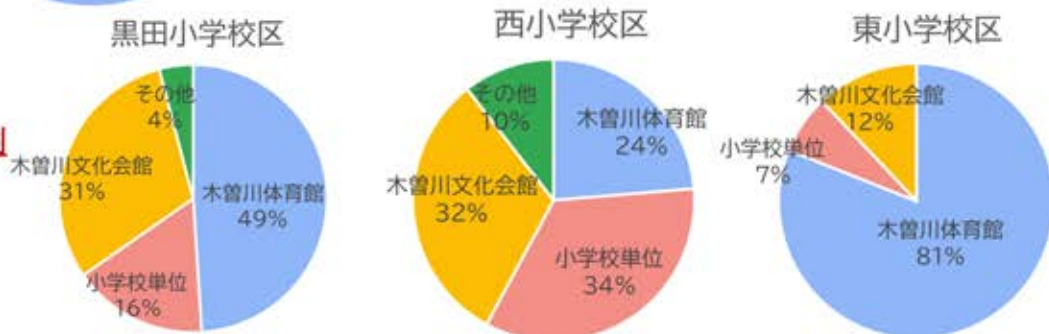
@ 開催場所について



設問

| | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| ■ | 今まで通り、木曾川体育館 |
| ■ | 小学校単位で開催 |
| ■ | 木曾川文化会館（尾西信金ホール）で分散して開催 |
| ■ | その他 |

小学校区別



全体に一番多い意見は「今まで通り木曾川体育館で開催」であり、半分以上が「木曾川体育館」を望んでいる。しかし、学校別にみると、木曾川体育館から遠い「西小学校区」の意見は「木曾川体育館」より「小学校単位」と「木曾川文化会館」が多い。「東小学校区」では、地理的にも近い「木曾川体育館」で開催を希望する人が多かった。

@ アンケート結果について

今回の調査結果から見てくる地域の皆さんが望まれる敬老会のあり方を、主催者（社会福祉協議会木曾川支会）と関係団体（町会長協議会・民生児童委員協議会他）が共有して、今後の敬老会の開催方法について話し合っていたと考えています。

また、ホームページにおいても年齢別・地域別のグラフや皆さんからのご意見を掲載しますので、ご覧ください。

最後に、今回のアンケートに回答していただいた地域の皆さんと、配布・回収に協力していただいた区長さんと民生委員さんをはじめとする関係者の方々にお礼申し上げます。

防災訓練を開催しました(連区町会長協議会主催)

毎年のように起きる豪雨災害、また地震も全国で頻繁に発生しています。中でも今一番懸念されますのが、南海トラフで発生すると予想されます巨大地震です。マグニチュード8~9クラスの地震発生確率が、10年以内では「30%程度」、30年以内では「70~80%」と予想されています。

こうした大規模災害発生時には、まずは「自分の命」を守ることが一番です。その後の避難所運営は、地域の力の「共助」が必要になります。そのために地域の防災リーダー意識と行動力の向上を図るため、11月19日、木曾川町連区防災訓練を木曾川西小学校において開催しました。

訓練は、木曾川消防署・消防団木曾川西分団・市役所危機管理課の皆さんにご協力をいただき、避難所運営のDVD鑑賞、心肺蘇生訓練、物干しボールを利用した担架づくり、簡易トイレの組み立て、消火器訓練を実施しました。小学校へ参集した参加者は、まず火災の煙を想定した「スモークハウス」を体験。一寸先が全く見えず、手探りでハウス内を進みます。本当の火災であればと、改めて煙の恐ろしさを体感しました。

この訓練体験を各町内会へフィードバックして、防災対策に役立てていただきたい思います。

来年度は、木曾川東小学校区で実施する予定です。



避難所運営について

- ①地震災害発生後すぐには避難所が使用できず、建物の安全確認が必要です。
- ②避難所の運営は、避難所を利用する人たちでの自主運営が原則です。連区・町内会役員等で構成する委員会を設置し運営事項を協議して決定する。
- ③運営は特定の人の負担にならないよう、可能な限り役割を分担する。



第47回木曾川町商工まつりを開催しました(商工会主催)

木曾川商工会では、一宮市木曾川町の地場産業である繊維産業や特産品等を広く地域に宣伝紹介するため、商工まつりを開催しました。11月11日(土)12日(日)の尾西信金ホールでは修文学院高等学校、一宮北高等学校、一宮興道高等学校や「きそがわKIDS」をはじめとして地元住民の方々による和太鼓、合唱、吹奏楽、ダンス、バンド演奏等をステージで発表していただきました。11月12日(日)の木曾川商工会館では女性部によるうどん販売をはじめ、会員企業による和菓子、野菜、パンなどの販売をしました。またミニ企業店では、各種相談会、木工工作、AED体験や救急車のパネル展示の写真撮影、自衛隊の災害派遣パネル展示が行われ、地元団体の方々によるストラックアウトや、木曾川町のタマネギのPRとして修文大学生によるタマネギレシビの紹介を行いました。

ステージのイベントとしては、紅白のお餅プレゼント、「ハッピースマイルみき」によるパフォーマンスショー、「一宮モーニング応援団」によるステージ&じゃんけん大会、現役保育士5人組あそびうたユニット「そぶたんず」による歌など、地域住民の方が楽しめるまつりとして、多くの皆様にご来場していただきました。



「声掛けお助け隊」認知症徘徊模擬訓練(思いやり部会)

3回目となる今回は黒田小学校の校区にお住まいの方々に参加いただき11月11日(土)に実施しました。黒田小学校の子供たちを含めて4人を1組とし10組のグループの方々、一人では難しい声掛けを認知症役のボランティアの方に対してチャレンジいただきました。グループで2回ずつの真剣な体験をしていただきました。頼もしい「声掛けお助け隊」の広がりが図れました。



★体験者と認知症役の方々から報告会で発表頂いたポイント

- ・声掛けや聞き取りの難しさを体験できた。コミュニケーションの取り方がポイントだと感じた。
- ・徘徊者を取り囲まず、眼と眼を合わせて会話することで信頼感を覚え、対話を進められた。
- ・日頃お年寄りとかかわることがないので貴重な体験だった。機会があれば又参加したい。

★来賓の方々からのメッセージや講評のポイント

- ・今年は小学生の方が参加されているが来年は中学生の方の参加を望みたい。
- ・積極的な声掛けは中々難しい時代ですが、体験学習を通じて行方不明者の早期発見を。
- ・声掛けのポイントは、「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」。

認知症患者の増加は今後も続き、患者予備軍という方を含めると来年度は実に高齢者の3人に1人と予測されるようです。行方不明者の撲滅には近所関係が大切です。地域全体で支え合えるようにこの取り組みを今後も継続していきます。